



F-Lab2018上期 キックオフ 5合目スタート

F-Labワークショップ2018年上期は4月12日にキックオフしました。参加企業の皆様、専門家の方々、コンサルタントが一同に集い、共通的な学習をしました。また、チーム議論を通じて、参加者ごとの取組み作戦がイメージアップされました。3ヶ月間でイノベーションの1周サイクルを廻すべく、各チームとも5合目スタートができました。

●革新地図の学習



元本田技術研究所の山本氏から自動車産業の世界的な現状とパワートレインの将来像について、富士通の山影氏からAIの最新技術と動向、導入事例について紹介いただきました。

●チーム別の想いの可視化

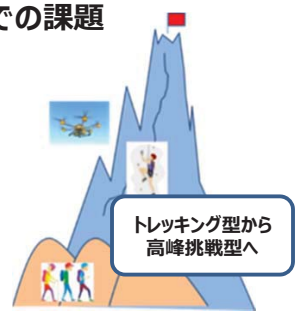


- Next Mobilityチーム→取組みテーマに対して具体的な方向性を確認
- 働き方改革と会議イノベーション→改革チーム（現実）と経営チーム（あるべき姿）に分かれて討議。
- 共創・革新マネジメント研究→参加2社で情報共有後、各社ごとに検討。各種Formatも活用して想いを表面化

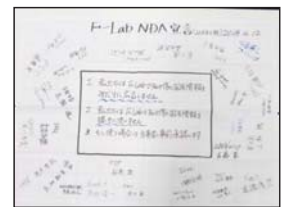
●全体共有と次回までの課題



コラボレーションタイムでは各チームの代表が発表、他者の取組みを共有。参加者からのK&Tも参考に、次回までの宿題を確認して終了。その後は懇親会で参加者同士個々に交流しました。



NDA宣言



F-Lab参加者の皆様へ

ワークショップ第2回（5/17）までに下記を作成願います

①「1枚の絵」

②「未来カタログ」の仮作成

* 詳しくは12日にお渡ししたガイドを参照いただき、不明点は事務局までご連絡下さい。

E-mail : info@fmic.jp TEL (03)3459-8178 (浅野)

コラム 先選驚共

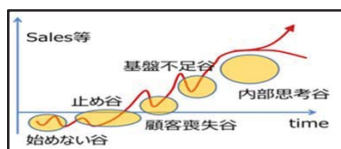
先を見て課題を選び驚きを共創・共鳴する

イノベーションのキャズム越え①5つのキャズム

FMIC 未来はじめ研究所では、これまでの先人の研究や企業活動の実態等から、イノベーションプロセスに存在する5つの谷（キャズム）を定義しました。5つの谷とは・・・

- ①始めない谷・・・始めるべき時に始めない谷
日々のなかで、挑戦課題に気づいても行動に移らずタイミングを逃す
- ②止め谷・・・良いことをしているが周りが止めてしまう谷
ソニーでLIBを実現した西先生が提唱。経営層との共鳴不足等
- ③顧客喪失谷・・・メジャー顧客を獲得できず事業が停滞
ムーアさんのキャズム論に出てくる教え。初期市場からメジャー市場へ
- ④基盤不足の谷・・・ビジネスの発展基盤がついてこない谷
技術・組織・人材・モノづくり等のビジネス基盤弱体で成長が止まる
- ⑤内部思考の谷・・・中位安定の谷
今のビジネスが絶好調だと、次の挑戦を先送りしがちになり能力喪失

F-Labでは、これらの谷の実態と効果的な克服法について研究と実践を行います。次回以降はこの5つの谷について、よりくわしくみていきたいと思います。



オープンワークショップ (2018年上期)

回/日程	講演	ワークショップ	共創議論
第1回 4/12 <着眼> アット ビジネス センター	■「自動車産業の未来」 ～パワートレインと自動運転の将来像～ 元本田技術研究所 山本 恵一 氏 ■「AI技術の動向と これからの応用技術」 富士通株式会社 山影 譲 氏	①革新年表紹介 ②革新タイムライン ③SHINKAマップ (グループ別) (各社別)	発表と 共有化
第2回 5/17 <仮説> Tech Shop Tokyo	■「デジタル革新時代へのビジネス 展開を意識したtechShopにお ける共創活動」 テックショップジャパン株式会社 取締役 島田 順一 氏 ■「(仮)イノベーションの進め方」 富士通アドバンスドエンジニア 先進技術センター長 渡辺 佳男 氏	未来カタログ作成 ・各社別 ・1名～複数名	専門家 アドバイス
第3回 6/21 <検証> TKP 八重洲 カンファ ランス センター	■「ドイツの最新インダストリー4」 IMIG (International Management & Innovation Group) CEO Dr.Hartmann ■「新事業の成功条件と イノベーションチームビル」 FMIC 高橋 淳久	社内提案書作成 ・各社別 ・専門家支援	交流議論 参加企業 の幹部にも 参加要請

<F-Labの特徴>

- ・業界の専門家や大学の先生の講義から学び、さらにコンサルタント、参加者からもアドバイスを受けられる
 - ・複数企業参加、毎回のコラボレーションタイムで全ユニットの取り組みを共有することで自社のポジションを確認、チャンスのヒントを得られる
 - ・各回開催前にコンサルタントのフォロー有
- * 2018年下期も開催予定です。お問合せは下記までお願いします
E-mail : info@fmic.jp TEL (03)3459-8178 (浅野・船橋)